



至誠

勝田第三中学校 学校だより 第3号

令和7年4月28日(月)発行

文責：校長 川上徹行



勝田三中HP

授業参観・PTA総会・学年学級懇談会、お世話になりました。

本日はご多用の中、多数の保護者の方々にご来校いただき、ありがとうございました。

生徒たちに、充実した学校生活を提供するために重要な、PTAの諸活動や予算が承認され、実質的に令和7年度をスタートさせることができました。「至誠 勤勉 協和」の校訓のもと、更なる教育活動の充実を図ってまいります。保護者の皆様のご後援を今後ともよろしくお願いいたします。(以下は私が総会で話した学校経営方針の要点です。)



令和7年度の教育方針と取組について(要点)

本校の生徒たちは、2030年代中盤以降の社会で活躍する「未来の人財」です。社会が加速度的に変化する中、「指示通りにできる」「正解を覚える」だけでは不十分な時代となっています。これからの子供たちには「自律」の力(=他者と適切に関わりながら自分で考え、判断・行動する力)が求められます。自律的な学びを育むため、本校は以下のような方針で教育活動を進めてまいります。

1. 学力の向上と主体的な学び

基礎基本の学習とともに、汎用的に活用できる力の育成を重視。

探究的な学びを通して、学ぶことへの肯定的な自尊感情を引き出します。

定期テストから単元テストへの移行により、「わかる・できる」の実感を大切にします。

AIドリルの活用を5教科授業で本格導入中。次年度には全学年で展開予定です。

2. 心理的安全性の確保と協働の力の育成

一人一人が活躍できる場を設定し、対話や協働の中で互いを尊重する力を育てます。

生徒会主導の行事や交流活動を通して、「群れる感覚(共同体感覚)」を養い、相互理解・多様性の尊重を学びます。

3. 自律を支える環境づくり

助言を受けながら最終的には自分で決定する力の育成を重視。

「自分は大切にされている」と感じられる安心感のある環境を整えます。

Σ(シグマ)検査やこども支援アプリを活用し、一人一人に応じた継続的な支援を実施します。

4. 教職員の学びと働きがい改革

教職員自身も積極的に学び、子供たちのロールモデルとなることを目指します。

校務効率化の取組として以下の変更を実施：45分授業の導入、部活動時間の維持

授業時数の確保策として、以下の調整を行う：年度始め6時間、定期テスト→単元テスト20時間、夏休み中の総合学習12時間、学校訪問日等で授業カットは実施しない：6時間➡年間合計44時間の確保により、市内他校よりも授業時数が確保できます。

5. 地域と家庭との連携

歴史と伝統のある本校の人的・物的資源を生かし、子供たちに多様な経験を提供。

地域や保護者の皆様のご協力により、子供たちの安全や成長を支えています。

部活動支援、登下校の見守り等にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

情報発信はH&Sアプリや学校ホームページにて行ってまいりますので、ご確認をお願いします。

【活動の様子 4月9日(水)～】入学式後の片付けを頑張る生徒たちや縦割交流活動、その他

